

軽米病院だより

## コロナが5類になったとはいえ…

県立軽米病院 院長 葛西 敏史

令和5年5月にコロナはインフルエンザと同じ5類感染症になり、ワクチンや治療費も1～3割の負担が発生しました。65歳以上は公費負担がありワクチンを受けているようですが、値段も高く若い人はほとんど受けていません。ワクチンの効果は、重症化をある程度防いでくれるということでしたよね。

インフルエンザとコロナを比べると、高齢者の死亡率が違います。若い人はさほど重症化しなく、罹患したこともわからない場合があるので注意してください。ウイルスは見えないので、どこでうつったのかわ

からない場合がほとんどですから。

令和5年は、インフルエンザの15倍以上の人がコロナで亡くなっています。昨年も、岩手県ではどちらも多発しているので、同様のデータが出てくると思われます。

病院や施設も90歳代が多く、死亡リスクは高まります。年末年始もコロナでの入院は続いています。正月休みも明けてこれから人と接する機会が増えますので、引き続きマスクや手洗いなど、基本的な感染対策を継続していく必要性があるでしょう。

**死亡数** (厚生労働省人口動態統計：死亡簡単分類別にみた性別死亡数)

令和5年▶インフルエンザ：1,383人、**コロナ：38,086人**

**コロナによる死亡者の年齢構成** (2023.5～2024.4)

90歳以上：38.6%、80代：39.8%、70代：15.9%、60代：3.8%、50代：1.2%、30～40代：0.5%、29歳以下：0.2%